全日本教職員組合実習教員部

全 教	実教部ＮＥＷＳ	第９６号 2016/4/１１発行

教育予算の充実と実習教員の待遇改善を！

～第２７回　定期大会成功裏に開催～

全教実習教員部は 2 月 21 日、第 27 回定期大会を開催し、2015 年度総括および 2016 年度方針を決定し、新役員を選出しました。

相馬部長のあいさつでは、全教「組織建設３か年計画」に呼応し、拡大計画の立案と行動の呼びかけをおこなったことや、「戦争法」廃止と憲法擁護のため 2000 万人署名を推進することの重要性が強調されました。また自らの経験も紹介しながら「私たち自身が主権者教育にとりくんでいこう」と呼びかけました。

仲事務局長の基調報告では、実教部のとりくみなどにより農業科認定講習が再開・実施されたこと、組織拡大リーフレットをリニューアルし配布したこと、各組織で組合員拡大がすすめられ複数の組織で 10 名以上の加入があったこと、実習教員への教員免許更新制適用の実態についてアンケートを実施したことなどが報告されました。

討論では、「教育予算が削減され、学校ではストーブの使用も制限をきびしくしている」「就学支援金を生活費にまわさざるをえない家庭も出ている」「自衛隊への就職案内が多くなっている」などの子どもと学校の状況が報告されました。実習教員の賃金・権利に関わっては、「教職員評価と賃金がリンクされている。実教は独自に授業運営できないので改善しようもなく大変不合理だ」「評価シートの職名が『実習教員』と改善された」「専門科実教の格付け基準改定交渉で在職者の経過措置、実施の先送りなどの条件を引き出した」「実教初任者への研修が開始された」などの発言がありました。

組織拡大については、「期限付き実習教員を対象に採用対策学習会を開催し加入につなげている」「つどい合い・語り合いの企画を通し対話運動を広げている」「分会と実教部役員が連携して加入を働きかけている」などのとりくみが報告されました。

全体として、情勢を反映したきびしい攻撃がつづく中にあっても、積極的に運動をすすめている内容の発言が多数されました。

大会は「アピール」を採択し、2000 万人署名の推進と憲法改悪反対、憲法を守り発展させること、実習教員の要求実現をめざして奮闘することを呼びかけました。

◎大会で選出された新役員

部　　長	相馬　浩明	（北海道高）
副 部 長	鷲津　康子	（愛知高）
副 部 長	工藤　和俊	（長野高）
事務局長	舟川　智成	（富山高）
事務局次長	魚住　知一	（山口高）
常任委員	仲間　保	（大阪府高）
常任委員	藤元　広明	（岡山高）

２０１６全教実習教員部　新役員の方々

◎退任された役員

仲　　幸秀（愛知高）　岩下　信　（佐賀高）

※このたび退任された役員のみなさん、お疲れ様でした。
各組織に戻られましても、今後とも仲間の輪が広がりますようご協力お願いいたします。

第 25 回
全教実習教員部全国学習交流集会

日程：2016 年 7 月 30 日（土）～8 月 1 日（月）
会場：「グリーンホテル三ヶ根」（愛知県西尾市）

- ◆「普通教科（理科・家庭科など）と実験・実習教育」
- ◆「職業教育（専門教育）と実験・実習教育」
- ◆「教科外教育」
- ◆「実習教員運動・制度改革」
- ◆「障害児教育」

※参加者はレポートの準備をよろしくお願いします！

連絡：各ブロックより運営スタッフ
２名の選出をお願いします。